

# 令和2年度 ニホンジカの捕獲実績について(速報値)

資料2-1

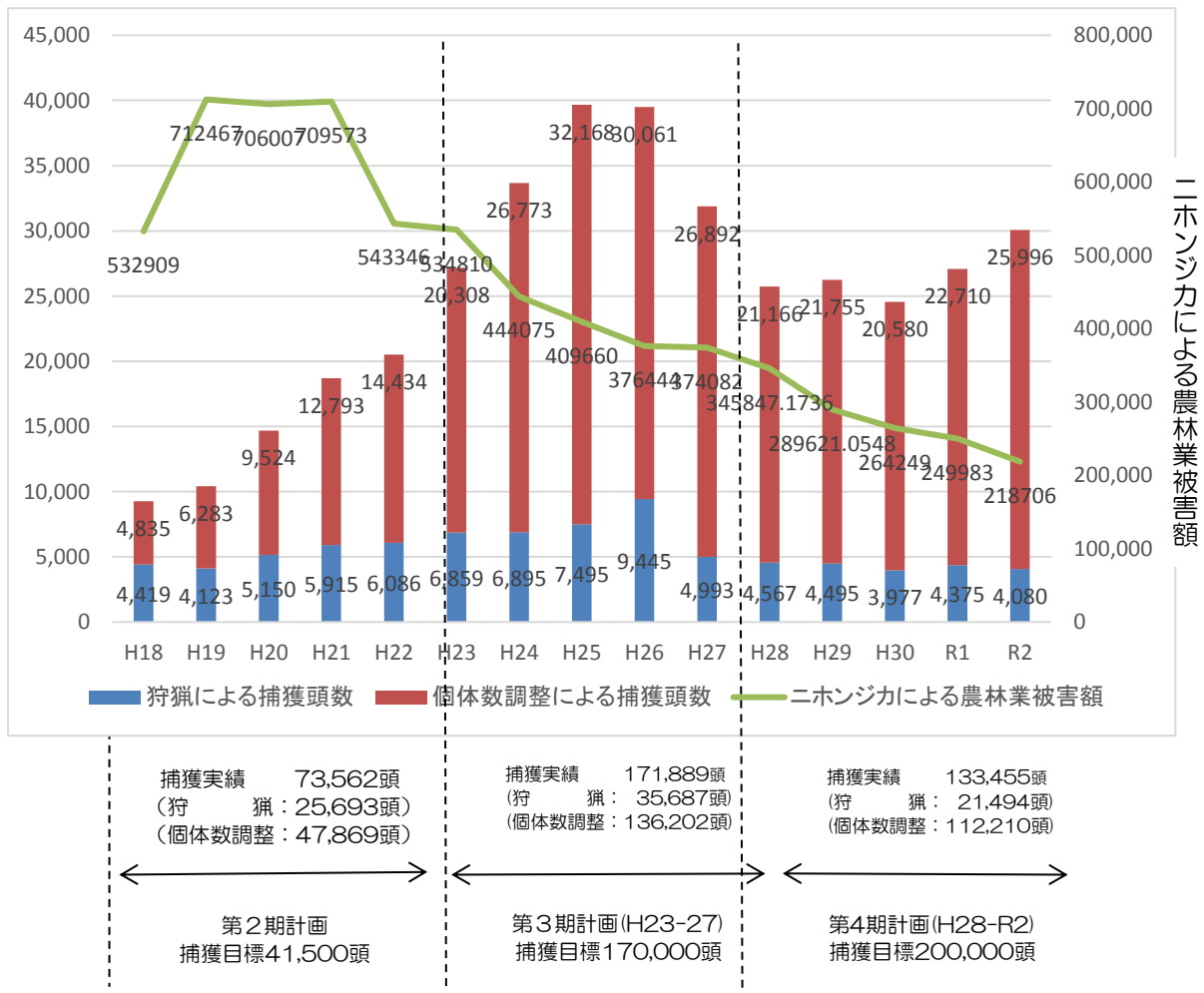
鳥獣対策・ジビエ振興室

## 1 第二種特定鳥獣管理計画に基づく捕獲目標と進捗状況

(単位：頭)

項目	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
捕獲目標 (A)		40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000
うちメスジカ (B)		29,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000
捕獲実績 (C)		31,885	25,733	26,250	24,557	27,087	30,087
うちメスジカ (D)		19,256	14,878	14,637	13,057	14,206	15,483
目標達成率 (C)/(A)		112.9%	79.7%	64.3%	65.6%	61.4%	75.2%
うちメスジカ (D)/(B)		91.5%	66.4%	63.0%	62.0%	55.3%	51.5%

## 2 捕獲頭数と農林業被害額の推移

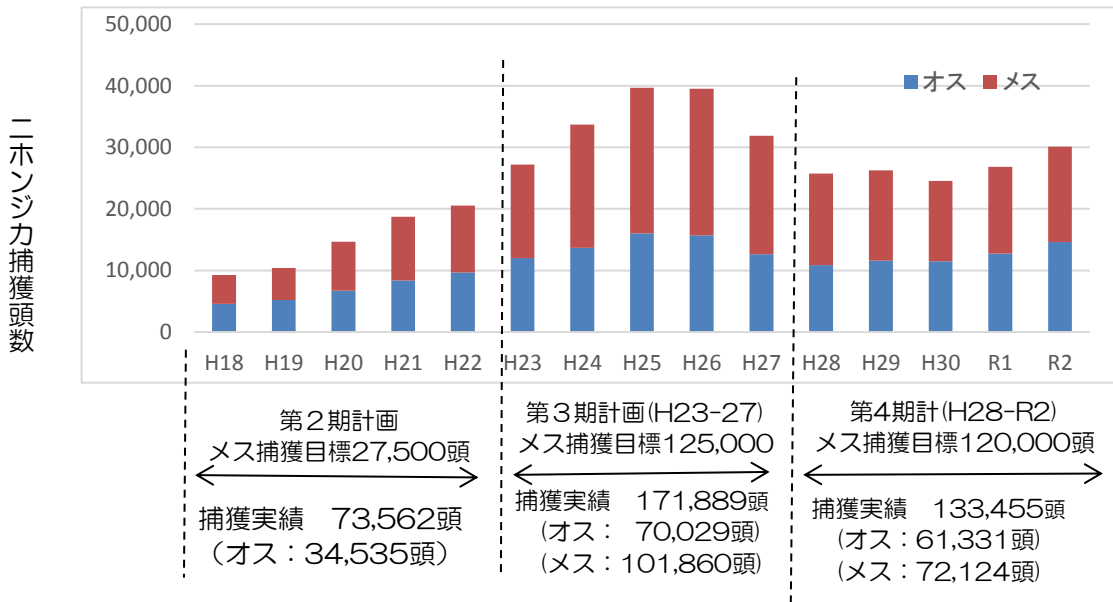


○令和2年度の総捕獲頭数は、30,087頭で、対前年比111.1% (2991頭の増)

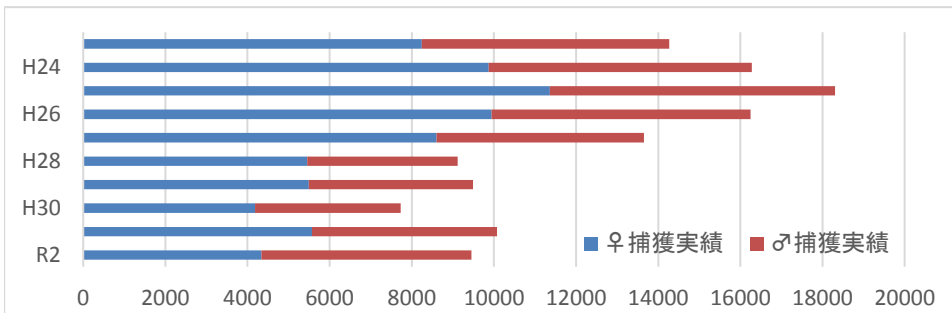
○狩猟による捕獲頭数は、4,080頭で、対前年比93.3% (295頭の減)

○個体数調整による捕獲頭数は、25,996頭で、対前年比114.5% (3286頭の増)

### 3 オス・メス別捕獲頭数の推移

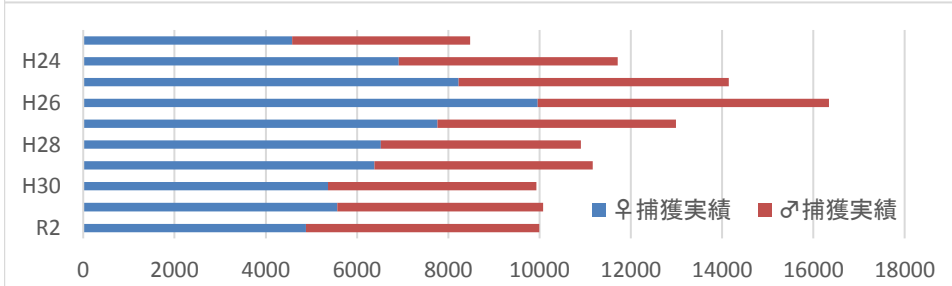


### 4 ユニット別の捕獲実績



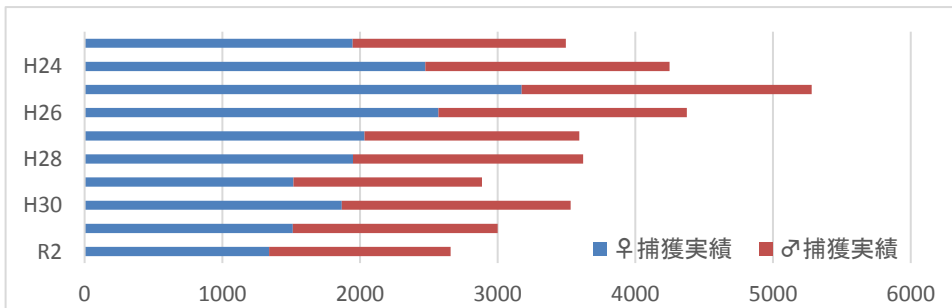
#### 南アルプスユニット

〈概況〉  
南部を中心に密度の高い状態が継続。



#### 八ヶ岳ユニット

〈概況〉  
高標高地の草原状の地域を中心に生息密度が高いが、対策が進んだ地域では密度の減少も確認された。

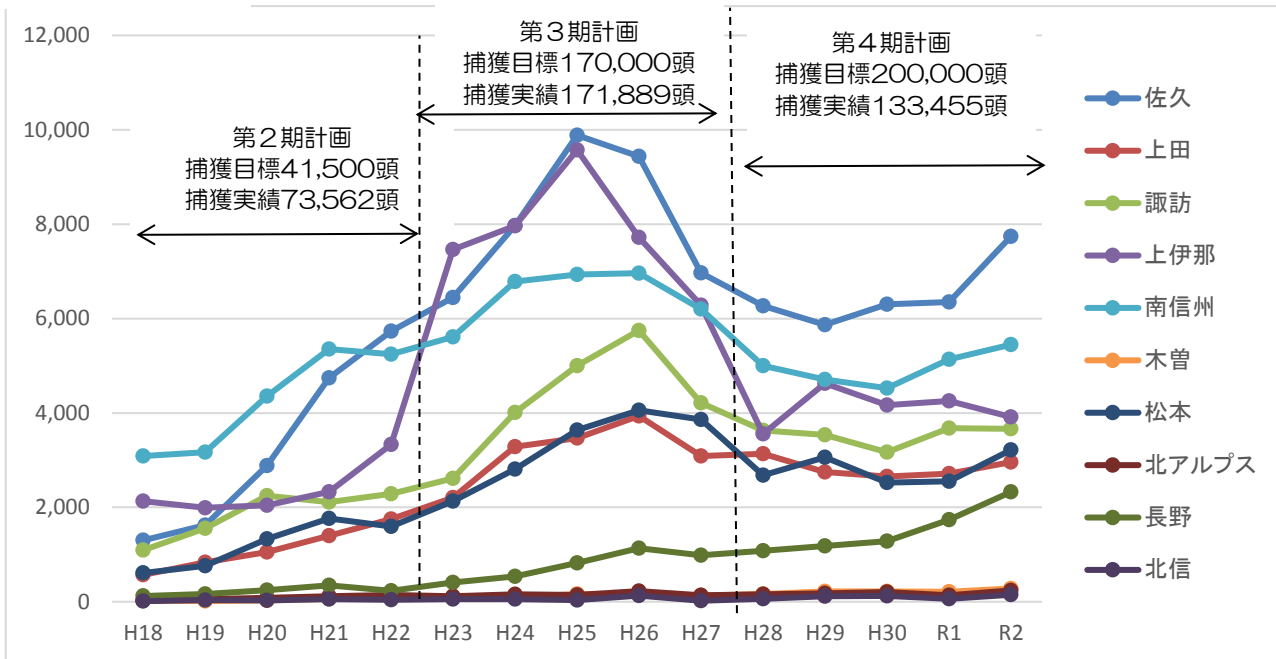


#### 関東山地ユニット

〈概況〉  
地域を跨いで生息する個体が多く、隣県との連携が重要となる地域。

## 5 地域振興局別捕獲頭数の推移

【単位：頭】



○南信州、松本管内の捕獲数が2年連続で増加。  
県北部では、ニホンジカ分布が拡大傾向であり今後の動向に注意が必要である。

(参考) 獣種別捕獲報償費(国交付金)

対象鳥獣名		国交付金の 上限単価(円/頭・羽)
ニホンジカ イノシシ	食肉処理等のための施設において搬入確認搬入した場合	9,000
	焼却処理等のための施設において搬入確認搬入した場合	8,000
	上記以外の場合	7,000
ニホンザル		8,000
ハクビシン、アメリカミンク		1,000
ハシボソガラス、ハシブトガラス、カワウ、サギ類		200

※市町村による独自の上乗せ有り

# ニホンジカ対策について (第5期ニホンジカ管理計画の概要)

鳥獣対策・ジビエ振興室

## 1 第二種特定鳥獣管理計画（第5期ニホンジカ管理計画）

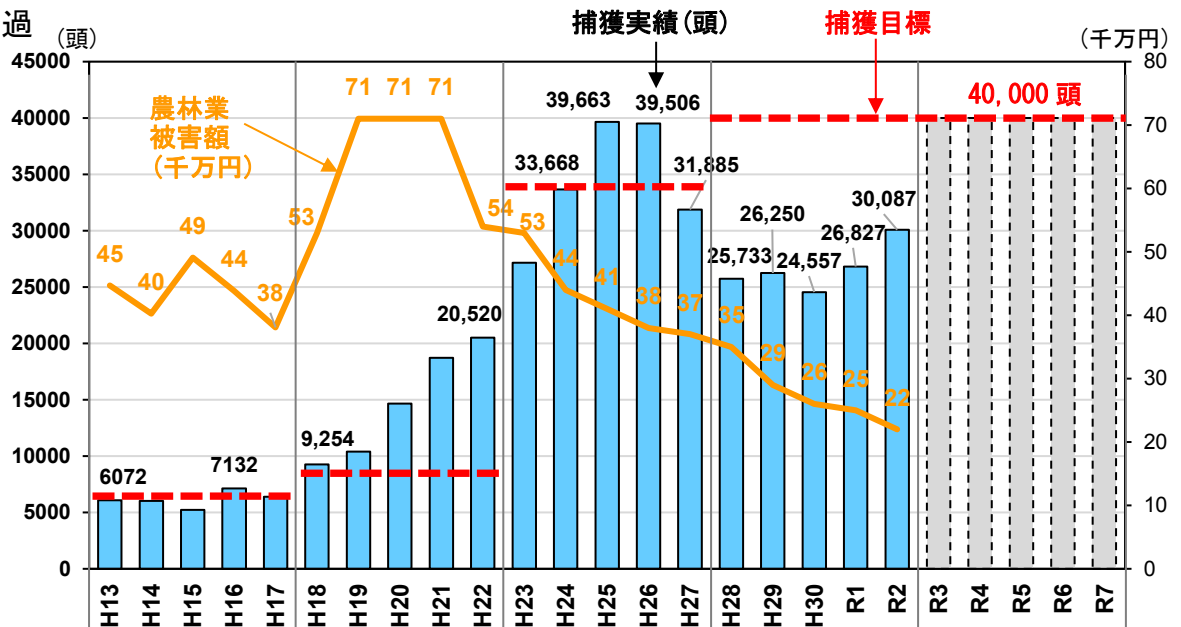
- 鳥獣保護管理法に基づき、増えすぎたニホンジカを適正な生息密度に維持するため、都道府県知事が5年を1期とする管理計画を策定
- ニホンジカの第5期管理計画は、令和3年度から開始（R3～R7）

【参考】長野県における管理計画策定状況（5種の獣類）

カモシカ(H12～)、ニホンジカ(H13～)、ツキノワグマ(H14～)、ニホンザル(H16～)、イノシシ(H21～)

## 2 これまでの経過と第5期計画

### (1) 経過



区分	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
計画年度	H13～H17	H18～H22	H23～H27	H28～R2	R3～R7
調査年度	H10～12	H15, 16, 18	H22	H27	H22～R2
推定生息数(中央値)(頭)	31,711	61,600	104,666	203,449	216,795
捕獲目標(頭)	33,500	41,500	170,000	200,000	200,000
捕獲実績(頭)	30,911	73,562	171,889	133,455	—
達成率(%)	92.3%	177.3%	101.1%	66.7%	—

※R2速報値

### (2) 第4期計画の振り返り

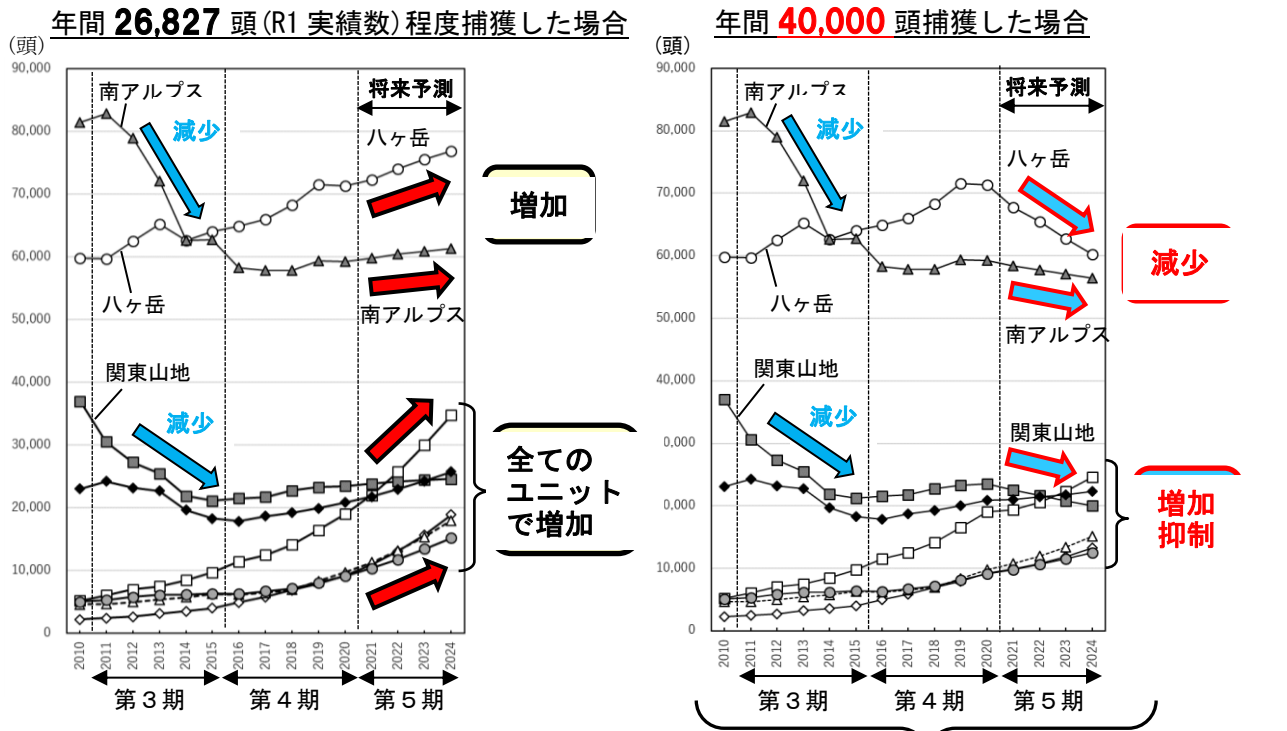
シカが獲れにくくなり、捕獲数が減少（捕獲努力量を増やしても獲れない）

【理由】

- シカが学習し、捕獲しづらい環境（自然公園、鳥獣保護区、別荘地等）へ移動
- シカが学習し、里地や里山周辺のワナを警戒

### (3) 生息数の推移と将来予測

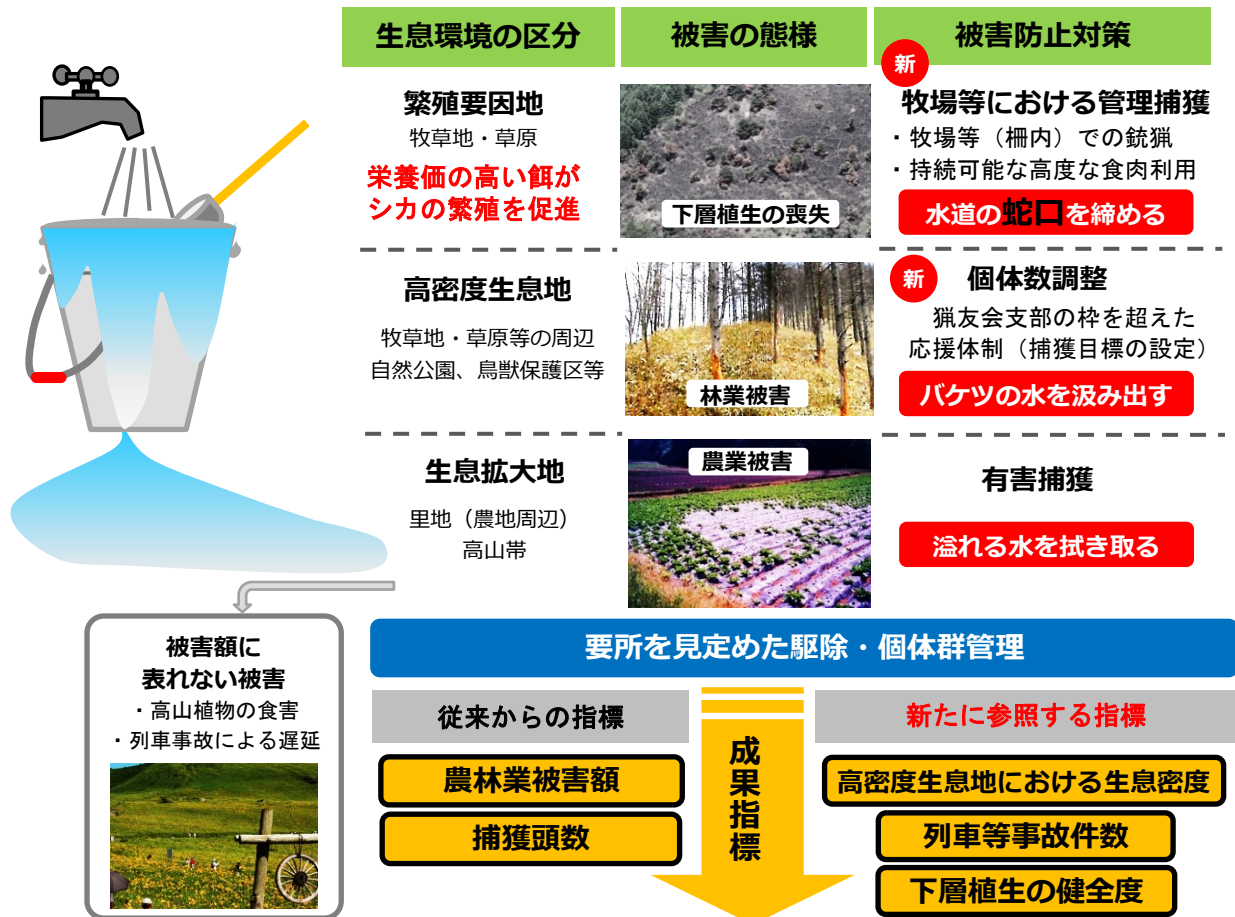
推定方法を高度化して10年前からの生息数の推移を連続的に表し、将来予測を可能にした。



- ① 目標捕獲数を達成する工夫（または同等の効果）
- ② 高密度生息地を広げない対策 **が必要**

### 3 第5期計画における目標と取組

#### (1) 生息環境に応じた捕獲対策



## (2) 目標達成のための主な取組と令和3年度事業計画

### ① 重点捕獲区域の設定

シカの生態や地理的条件に基づき、高密度生息地において重点捕獲区域を設定し、県と市町村が連携して捕獲を推進（9ブロック）

### ② 高密度生息地における持続可能な捕獲の実施

- 持続型捕獲モデル実証事業  
令和3年度 下諏訪県有林における管理捕獲手法の検討
- 牧場での持続的な捕獲の支援  
令和3年度 美ヶ原牧場における管理捕獲・ジビエ利活用の支援
- 捕獲者の高齢化地域におけるジビエカーを活用した捕獲個体の回収・ジビエ利活用  
令和3年度 筑北村における支援

### ③ 防衛ライン（捕獲活動強化地域）設定による高密度生息地の拡大抑制

令和3年度～ 高密度生息地の八ヶ岳地域から北アルプス地域へのシカの移動抑制（明科・生坂～大町・池田防衛ライン）

### ④ 捕獲者の確保・育成・担い手の捕獲技術の高度化

令和3年度 県認定管理捕獲技術者の育成（5名公募）

